

刊夕日五十月九

# 常磐每日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
廣告料 五字一円 十字一円五角 二十字一円八角 三十字一円五角  
電話 常磐 六三〇 常磐 六三〇  
印刷所 常磐 毎日新聞社  
印刷機 常磐 毎日新聞社

## 竣工近き水道 擴張事業概要 (3)

平町 伏見彦衛

### 入、高架水槽

八幡小路配水池構場内へ築造高架水槽は、圓形の高塔にして、満水面位は地上拾五尺五寸、其の大きさは内徑拾八尺、高七尺、有効水深六尺の全部鐵筋混泥土造にして、其有効容積萬五千二百六立方尺なり。

水槽内には引入管内徑三百耗鐵管一條、引出管には内徑三百耗と二百耗の二條鐵管を取付け、二百耗管は町内高地の八幡小路及城山方面に給水を主として、三百耗は配水池に送水するものとす。

高架水槽満水面位は海拔百六十三尺なり。

### 九、配水池

平町八幡小路所在配水池は二個とす。内一個は池内を三區劃とす、其全長百拾尺三寸、幅四拾六尺九寸、深十一尺、有効容積四萬八千二百二立方尺にして、内には六個の導流壁を設け水は常に停滞せず、一樣に流出せしむるものとし、構造は煉瓦及混泥土を以て築造す。池の満水面位は海拔百四拾八尺なり。又一個は全長八拾三尺、幅五尺五寸

有効水深拾三尺、容積五萬七千四百立方尺を有す。内には六個の導流壁を設け構造は凡て鐵筋混泥土造にして、池の満水面位は海拔百五十五尺なり。前記二個にて拾萬五千六百〇二立方尺の貯水量にして、計畫配水量一日二拾萬立方尺に對して十二時間餘分を貯水するものとす。



雨より 悪るい 三津木貞夫

(1) 腥い風が吹き通つた。と、雨が細かく降つた。冷めたさが身に沁みだした。「止めい。」

監督が怒鳴つた。

しかし、失業者たちはサベルを握つたまま、黙々と土を掘つた。若しこの仕事を今日これで放つてしまへば直ぐ胃の腑が泣くのだ。ながい餓死的失業のあと、辛じて得た仕事だつた。失業救済の土木事業だ。失業者四百餘人は二組に別けられた。そして、一と組五日交代だつた。五日の働らき、五日は強制的に休まされ、胃の腑を空らつぽにして自分自身の肝臓

を喰ふことを餘儀なくされるのだ。失業者たちは、うなだれて雨に冷めたくしつとりと濡れながら、唇を噛んで土を掘つた。まだ辛つと十時を廻はつたばかりだつた。

日給は五十錢だつた。で、監督の言ふまま、仕事を止めてしまへば、日給の半分も貰はないのだ。「オイ、止めないか。」ガミガミ監督は聲を尖がらせた。

さらに監督は怒鳴つた。「そんなに仕事したいんなら仕事、いくらでもシヤがれ。しかし、賃銀はいくら働らいたつて十五錢しかやらないぞ。」失業者は止むなく仕事を止めた。

失業者たちは、十日も二十日も飯を喰はないやうな人間見たいにのろくさと歩いて行つた。一日ゴツゴツ働らいた時よりか、百倍も苦しい、懶い疲勞を重く感じた。足は棒のやうに固ばつた。彼等は足音を恐怖に戦さむやうに歩るゝた。

田地带だ。失業者たちは嘗てその炭礦労働者だつた音響は、犇々と彼等に失業の身を乞ひし、彼等の胸に打ちつけた。そして、ともすれば秋と言ふ季節は、人間の心に感傷をしのびこませるんだ。而かも、秋雨は冷めたく降つて居るのだ。彼等は、生きなければならぬ人間は全く無意味な感傷に身を切られるやうに苛まれた。

## 文藝募集

肥つた、そして腹が臨月の女の腹のやうに満潮つ膨れた収入役が、失業者に恩恵を施すもの、やうに傲然と慈善者振つて、彼等を睥睨しながら「ほれ」と鼻であしらつた。失業者は十五錢ぼつちを握つて、空しく飢えた胃の腑をかゝえて黄色い嘴を尖げ待つて居る妻子のところへ、重い足を曳き摺つた。宮田重吉もその一人だつた。二年に亘る失業だつた彼は、もう三十九歳でありながら性慾も忘れた男のやうに顔は灰色に干びた、眞實、榮養不良は彼を去勢した。

而かも、あしたから五日間は、いや應なし、休まなければならぬのだ。家には米はない。彼は雨を怨んだ。

### 新製品

コーヒー通の待望せる  
挽立コーヒーの快味

四半封罐入 〇、三五  
半封 〇、六五

## コーヒー發賣

グアテマラ  
ジャマカ  
ヤバ

コーヒー三割五分二種配合  
四割五分

速席挽立てを差上げます

### 大勝園コーヒー部

電三九六番

## 木村外科醫院

花柳科 専門

平町五丁目九番  
電話三〇九

毛糸

本年度新色全部揃いました  
御値段は昨年と同じで差上りません

一オンス 十五錢

〔見本帳進呈〕

### シモヤ糸店

一冊の代金で  
御希望通りな  
五冊の雑誌が  
自由に讀める

川崎巡回文庫  
電六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式會社  
西村屋藥舗  
平町二丁目電三

御用命は總て  
常磐毎日印刷株式會社

印刷物の總代理

電話六〇三番

# 平辯護士會の手數料と謝金

## 悪三百の横行に備えんと

### 今回協議の上決定公表す

平地方には一知半解の法律知識を振り廻して無知な者を煙に巻き是れを飯の種にする處謂惡三百の横行甚だしく且つ

是等の徒は何れも「辯護士の手懸れば非常に金が入る、自分等はほんの手數料で便宜を圖る」等と誠にやかに申立て實は種々の名目で多額の金を捲き上げる様な悪手段を巡らし結局辯護士の手を煩すより以上に

大金を要する結果を醸す例が尠くないので平辯護士會にては此程協議の結果標準手數料及び謝金を左記の如く決定公表したが鑑定料の如き

水戸市 其他に比較する時は廿圓乃至十五圓の廉價であり殊に時節柄に鑑み貧困者には減額或は無料の特例を設けてあると

一、鑑定料(金五圓乃至金五拾圓但し簡易輕微なる事件及貧困者は此限りにあらず)  
二、訴訟事件の着手金(請求額金百圓以下金拾五圓同金貳百五十圓以下金貳拾五圓、同金五百圓以下

- 金參拾圓、同金七百五十圓以下金四拾五圓、同金千圓以下金六拾五圓、同金貳千五百圓以下金百拾圓、同金五千圓以下金貳百圓、金五千圓を超過するときは百圓毎に金貳拾圓を増す)
- 三、勝訴の謝金は勝訴額の壹割、尙和解、認諾、抛棄の場合には勝訴に準ず)
- 四、假差押、假處分、執行停止、證據保全等の手數料(イ)本案訴訟と共に受任する場合前記二項に定めたる料金の四分の一(ロ)假差押、假處分、執行停止、證據保全手續のみを受任する場合前記二項に定めたる料金の二分
- 五、不動産競賣事件の手數料(謝金共前記第二項料金の半額)
- 六、破産事件(着手金五拾圓以上、謝金五拾圓以上)
- 七、人事事件(着手金五拾圓以上、謝金五拾圓以上)
- 八、非訟事件(手數料金貳拾圓以上)
- 九、出張旅費(管内金拾五圓以上、福島市金貳拾五圓、仙台市金參拾圓、東京市金五拾圓但し二日に亘る場合は此限りにあらず)
- 十、貧困者にして其の證明ある者には規定の料金を減額し或は無料にて取扱ふ

## 産業振興上に

### 青年の必行事項

#### 協議會を開いて研究

本縣主催青年教育實績向上協議會は来る廿五日午前九時より石城郡泉村農業公民學校に於て開催されるが協議事項は現時の不況に鑑み産業經濟振興上石城郡に於ける實業補習學校生徒及び

研究をなすものであると

## 鹿島販賣協議

石城郡鹿島信用購買組合では近く販賣部を新設するに就いて来る十九日午前九時より村役場に於て委員會を開き協議すると

## 繭高値に勢つき

### 何れも掃立増加

石城郡下の各養蠶家は繭の高値に非常な活氣を呈し晩秋蠶の掃立数を増加しつつあるので俄然蠶種沸底を來たすに至つたのを奇貨とし

## 酒造稅滞納の

### 競賣は本日から

#### 平稅務署で執行

平稅務署に於ける昭和六年度の酒造稅滞納者川部村芳賀嘉衛門外二名の合計三萬六千五百三十七圓八十七錢の滞納處分に就いては過般田地其他の強制執行を行つた結果同署にて今十五日より三日間競賣に附する事になった

## 小川江筋

### 滞納整理

各方面督促  
△平窪村三十二名百十五圓六十八錢  
△下小川村廿三名四十圓二十一錢  
△神谷村廿一名八十八圓八十六錢

## 匪賊夜話 (13)

滿洲奉天駐劄 軍曹矢野重光

池に浮く泡  
暑い滿洲の陽が我等の頭上を照らす頃、我等は夢に想像して來た。

此の滿洲は今こうして炎熱と戦つて匪賊討伐に餘念のない現在を思ふと想像の國へ來て尙亦夢を見て居る様な心がします。それ程に暑さの強行軍の辛さの爲に何も考へる餘悠さへも無くなつてゐるのだ。何の爲に滿洲に來てゐるのか、今何の目的を以て行軍を續けて居なければならぬのか、若しそれがはつきりして居なかつたら行軍の辛さの爲に倒れて居た。

## 看護婦急派

### の求めに應

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

## 平看護婦會

電話三〇七番

ふ都市も四方の地平線上に圍れてゐるのを見る時、如何にも物淋しい都市に見える。亦娘々祭の賑かさも想像されて來る。戦争々々と何時迄續く昔戀しい娘々祭……と何時か歌つた誰かのこんな句も亦其の情景もしきりに浮び上るかと思ふと、フツと消えた、十五分間休憩だ「あゝ滿洲は廣いなあー私はふとこんな事を獨言ちてゴロリ横になつた何の考もない。此次の行軍に少しでも強かれて願ひつゝ体を休める許りだ。こんな行軍が幾日續いたか分らないがやはり行軍だ。行軍して居る時にのみ内地にて想像した情景を思ひ出す。丁度疲れて暑さに苦しめられて居る時だけ池に泡が浮く様にフト思ひ出すのだ。然しこの討伐に得た我々の經驗は偉大なるものと思ひます。歸奉する汽車の中で又内地で想像した曠漠たる滿洲の野に、支那馬車の通るのと砂塵をよそに賑かな娘々祭異國的な風景がボンヤリと幻の様に浮かんで來るのでした。

### 模 型 機 の

## 耐空二分間

### 會期切迫と共に 愈よ練習白熱化

いづみや主催の模型飛行機大會は既記の如く来る十八日開催の筈であつて期日の切迫と共に郡内フアンの熱度愈よ昂まり各自獨特の技能を發揮してその製作を急いで居るが某フアンの手になる模型機は實に耐空二分のレコードを示し競技當日を今や遅しと待ち構へて居る等素晴らしい前人氣を呼んで居る

### 八幡様の祭りに

## 六才位の迷ひ兒

片言でハツセンとのみ

### 身許判らず照會中

本日午前十一時半頃飯野八幡神社の大祭に雜踏する境内で六才位白帽に小倉の夏服を着てゴム長靴を履いた少年が迷兒となり泣き叫んで居るのを巡廻中の平署員が保護を加へたが「八仙」とのみで身元が判明せず多分住所が湯本の八仙であらうと目下照會中である

### 郵便集配 回数増加

明十六日から

平郵便局にては明十六日より市内の郵便集配回数は夏季中三回なりしを四回に増加すると共に取集の時間を左の如く改正した

(取集時間)第一號便午前六時第二號便正午、第三號便午後一時三十分、第三號便午後一時三十分、第三號便午後一時三十分、第三號便午後一時三十分

### 運動會の 競技種目

## 第二校で決定

既報來月七日秋季運動會を開催する平第二小學校各學年の競技種目は左の如く決定された

- ▽尋常科(一年)紅白毬拾ひ 三十米 バスケケット ボール 遊戯(二年)鳩ぼつぽ 輪くま 日章旗郵便配り 遊戯(三年)五十米 毬すくひ 一人一脚 スパンス 綱引 遊戯(四年)百米 熟語合せ 鬼ヤライ 四百リレ

花 二人三脚 遊戯(五年)百米 二人三脚 四百リレ キックボール 遊戯(六年)山と川 五十米 四百米リレー 源平擲取 バスケケットボール

▽高等科(一年)四百リレ スパンス 戀態リレー 百米 ドッチボール カンガール競走(二年)掃除競走 運算競走 百米 ドッチボール 四百リレ

▽職員(職員リレー) 置換競走

### 柔剣階級試験

武徳會茨城支部(水戸市)では來る廿五日午前九時より水戸武徳殿に於いて柔剣弓道の階級試験を行ふ事となつたので平署管内支部員の希望者は來る廿一日迄に平署へ申込まれ度いと

### 着衣に附着して 病菌を媒介した

## 豚コレラ益々猛烈

豚コレラ益々猛烈

平署管内の豚コレラは其後依然として猖獗を極め今十五日にも平町月見町に五頭發生した外湯本、警崎、鹿島等にも續出して居るが今回の傳染系統は病菌が着衣に附着し媒介したらしいので今後は検死係員以外には斃豚に近寄らせぬ方針である

貨物事務研究 平驛 高萩驛間及び平驛小川郷驛



明日のラジオ

### 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 お話 お月様に代つて 鈴木健治  
後六、二〇 趣味講演「川柳漫談月も歩く」小林不浪人  
後七、三〇 「仲秋名月の夕」東京向島百花園より中繼(観月短歌會)選者與

### 青訓聯合 演習計劃

## 廿一日委員會

石城郡青年訓練所聯合會にては來る二十一日午後一時より平第一小學校に於て主事會を開き過般委員會に於て決定した聯合演習計劃に關し協議すると

### 義兄の家に 忍び込んで 銅線を盗む

石城郡内郷村大字宮字畑子澤居住無職山澤三郎(三)は去る十日夜九時頃義兄に當る同字の古物商高野一方に忍入り銅線二貫餘を窃取し他に賣飛した事發覺し目下平署で餘罪取調中である

妻の貯金三十圓餘を拐帶行衛を晦したので本日平署に妻から捜査方を願出た

### 勿來青訓記念 石城郡 勿來町青年訓練所では來る廿四日午後一時より小學 校に於いて滿洲事變記念の講演會を催すべく講師を物色中

問の貨物係員三十餘名は本日午前九時より平驛に集合し貨物事務取扱に關する研究會を行つた

### 妻の貯金を 拐帶して 義妹と駈落

義妹と駈落

石城郡内郷村字平太郎居住抗夫山形鶴吉(三)は去る十三日夜同居中であつた妻ヨシの妹山本テル(三)と共に

長謝介石 氣象通報 番 全國ニュース 組報告

### 明日の部

前六、三〇 家庭教育講座「青年の心理と性教育」京都帝國大學教授文學博士 野上俊夫  
前七、〇〇 エスベラント講座(二十八)八木日出雄  
前九、一〇 料理献立「鳥賊の辛子焼」朝倉長吉  
前一〇、三〇 家庭講座「ワイシャツの作り方」終士屋許子  
後九、三〇 筑前琵琶「南部坂」辻旭幸

圓を窃取したる窃盜事件の公判は本日午前九時より平區裁判所公判庭に於て關口判事係り上田檢事及び吉田書記立會の下に開廷事實審理の結果檢事は懲役二年を求刑したが直ちに判事より求刑通り懲役二年を言渡された

### 平裁判たより

△既報石城郡高久村大字上山口三番地無職吉田正元(三)が去月二十五日午前一時頃石城郡湯本町大字湯本字辰ノ口二十五番地前態廉一外一名方より現金約十八圓を窃取したる窃盜事件の公判は本日午前九時より平區裁判所公判庭に於て關口判事係り上田檢事及び吉田書記立會の下に開廷事實審理の結果檢事は懲役二年を求刑したが直ちに判事より求刑通り懲役二年を言渡された

### 平職界の所報告

△求人 の部  
△ミシンの見習 十七才 尋卒 仕着小使(東京市某)  
△商店雜役 二十二以下 尋卒 月五圓位(平町某肉店)  
△自動車修繕工 二十五才 尋卒 日五六十錢位(平町某)

### 回求職の部

△納豆製造見習 十八才 尋卒 月四圓位(平町某)  
△女中 二十六才 高卒 給料面談(内郷村某)  
△事務員 二十四才 佐賢 給料面談(鹿島村某)  
△兒守 十四才 尋卒 給料面談(平町某)  
△女中 二十五才 尋三修 給料面談(平町某)

### 蕪市況 (13日)

△四倉市場  
(白蕪)百六貫(最高)四十二圓十錢(最低)三十二圓(馴)四十圓十錢

# 幕末剣士

【禁演上演及映畫】

悟道軒 圓玉演  
近藤 紫雲畫

第五百二十二席

女流劍客里見靜枝

腹切りは見合せ

長谷部傳藏は杉山五郎兵衛の道場に参り腹を切ると申し、兎も角もこれへお通り下さいと奥へ伴れて来た五郎兵衛

五「秋山先生」

と呼ぶと大儀さうにそれへ

出たは秋山要介

要「當道場にて腹を切ると申したは此人物か」

と云ひながら熱と目を着けた、時に五郎兵衛が

五「これは上杉の御代にて

長谷部傳藏と申す由」

要「あゝ浪人者かそれは頼

母しの、俺も浪人だ、又

杉山も浪人、一癖ある者は

五斗米の爲に己れの意志を

枉げて主人を戴く者は無い

主家を暇になるやうでは長

谷部殿も俺と同じやうに我

儘であらう、時に大分傷を

負うて居るやうだが、どう

してこれ程の傷を負はれた

か、定めし仔細ある事であ

らう、それを承り死なねば

ならぬ事情があらば腹を切

るも宜しからう、次第によ

つては俺が介錯をいたす、

一體どんな事で血を流した

ナ、俺はどういふものか血

を見ると自然身體に勇氣充

ちわたり夫が爲に死なねば

ならぬ事か



そのわけを話しなれ」云はれて長谷部が傳「其許は何んと仰せられますか」

要「神と云はれる程えらい人物でもない、年々武道衰へて剣術に達し居る者も少くそれが爲に武士一人前の心得があると名人のやうに見える、神様と云はれては面目ない」

つまりこれは慾から出たことだナ、そこで主計はどうした」

奥へろ、先方から何も云はぬ内に此方から名乗りを揚げて討たれるは愚な事だ、先づ養生するがよい、療治届かすして死すればそれまでの運命とあきらめるが宜しからう、のう杉山、こんな人物がとび込んで来たは、貴様の不運とあきらめて隠れまひを遣はせ、それとも突出すか」

はれてゐるよ、場合に由ると毛蟲のやうに扱はれる、憎まれ者世に憚るとやらで中風にかゝつて半身は利かぬが未だ生きて居る」

この事、どういふ事から決闘をいたしたか」

要「さうか、どうだ杉山、此處は貴様が主人だ、この長谷部と申する者に道場を貸して腹を切らせるか」

要「さうか、それでは早速傷の手當をいたして遣れ、イヤ長谷部殿、腹を切るは當分見合せがよからう」

## 美味！ 芳醇！ 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

九月十四日(水曜日)ヨリ特別大興行  
松竹超特作 監督池田義信  
デパートの姫君 全十巻

栗島すみ子 竹内良一 江川宇禮雄

◇日活提供 C.K. M.K. 作品

◇千恵プロ創立以来の巨作

◇東京日日新聞 犯罪公論連載  
◇大阪毎日新聞

# 密討渡世

片岡千恵藏 山田五十鈴 衣笠淳子

原作村松梢風 監督伊丹万作

仙臺放送局(HK)より擔當解説者石井孝氏が放送局推選により放送せる責任と自信ある近來の大名畫である!! 全二十巻同時上映

石井 孝獨演

十五日……八幡宮大祭  
十七日……七曜日  
十八日……日曜日

映畫長尺 正七時映寫  
ヒルの部 十二時ヨリ

日活松竹 平館 電466

書夜二回公開 料金……普通 二〇

## CAFE SEKAI

### カネノ奇界

紅、そして青の灯の下に  
美女のくむ緑酒を知り御身よ  
さらば来り召せ  
吾が世界のハレムヘ。

美しいオアシス世界の麗女は  
いと久しく御身の來るを  
心して待てり……

平泉路電話四七〇番